

「秋田支社での現業機関における柔軟な働き方の実現」に関する申し入れ説明交渉を行う!!②

3. 今後の冬期体制について明らかにすること。

組) 職名が統合されることで、冬期体制はどの様になるのか?

会) 職名が統合されるため、横手・つがる運輸区で行っているように乗務員が輸送職を担う部分は変化する。(営業) 統括センターとして箇所長が判断していく。

組) 日単位や時間単位での柔軟な働き方もありイメージできない。

会) 部外能力を活用し対応してきたが人材確保も難しい段階にきている。現在、安全を確保し冬期体制を保っている認識であり、今後の「除雪」や「冬期体制」を取る場合、人を増やし対応していくことは考えにくい。秋田支社総体として、今後どう冬期体制を担うのかを考えていかななくてはならない。

4. 現業機関で行う支社機能について明らかにすること。

組) 新たに「変革 2027」の実現に向けた組織再編が示され、現業機関に移管する業務についての「主な内容」が記載されていた。それをイメージすればよいのか?

会) 例として示している。エリアごとに業務実態や規模、立地条件等など違いがあり、地区連携室で既に自治体との調整等出来ている箇所もある。首都圏と秋田での違いもあるので整理する必要がある。

組) 秋田支社の中でもエリアに違いがあるのか? 着地営業強化も目的として話されている中で、観光推進していくために弘前駅や大曲駅にある観光オフィスの同様に、各(営業)統括センター内に新設しないのか?

会) 秋田支社内でもエリアにより違いがある。こまち、リゾートなど着地営業なのか。県南で取り組んでいるように、地域活性化なのか。観光オフィスについては一例として考えがあり社内調整段階。秋田支社は地区連携室では自治体と連携、組織横断 PJ など全系統で連携してきている。そうしたことに更に磨きをかけていくイメージである。

組) 具体的なイメージができるように示すべきである。会) 順次、考えているものがあり、然るべき時期に示していく考えである。

5. 間内改良等についての考え方を明らかにすること。

会) 基本的には既存の建物を利用する予定。東能代統括センター、横手統括センターで間内改良を考えている。

組) 具体的な場所、レイアウトについては?

会) 基本的な考えは、企画業務など共通の業務を行うことができるスペースを確保し、共通の PC を設置し全社員が使用できるようにしていく。東能代統括センターは第一建設の建屋、横手統括センターは新たなスペース確保が難しく、運輸区内にスペースを検討している。

組) 職場委員会での社員の意見が、支社に通らないという声が出されている。

会) 現状のスペースの問題などあり、全てが思い通りとはならないが、社員が働きやすくしていくことが前提であり、社員の発案は大事に進めている。

6. 様々な事情で働き方に配慮がされている組合員・社員については、今後も本人の意向を把握し尊重すること。

会) やりたくないから新たな業務やらないではなく、やれることからやっていただく。これまで様々な事情がある社員について配慮はしてきており、施策において変わるというものではない。

7. 今施策に対する社員説明の期間と、社員の疑問や不安を解消する期間について考え方を明らかにすること。

会) 社員説明については、これまで各職場でおこない、また F & Q で周知など行ってきている。社員が不安なく担っていくことが重要と捉えている。必要な説明やフォローを今後実施していく考えである。具体的なスケジュール、やり方は検討中であるが然るべき時期に行っていく。

NO. 35号へ続く